

成年熟年期部会 開催日：R1.5.30（木）

令和元年度 第 1 回 香南市人生支援計画 成年熟年期 部会報告書 (H30 年度の取組に対する評価について)

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	役職	氏名	所属	出欠
1	◎	川田 勲	香南市スポーツ振興協議会	出
2	○	百田 久範	青少年育成香南市民会議	出
3	◇	大野 英明	山北地区まちづくり協議会	出
4	◇	村井 洋子	吉川町まちづくり協議会	出
5	◇	尾崎 俊夫	社会教育委員	出
6	◇	山中 節子	香南市図書館協議会	出
7	◇	白石 令子	香南市社会福祉協議会	出
8	◇	大庭 静子	食生活改善推進協議会	出
9	◇	中元 二三四	健康推進員協議会吉川支部	欠
10	◇	西内 慶明	こうなんスポーツクラブ事務局	欠

◇ 事務局 ◎ 事務局長 ○ 副事務局長

	役職	氏名	課名	出欠
1	◎	小松 靖生	生涯学習課	出
2	○	伊藤 祐美子	健康対策課	出
3	◇	原 敬子	//	出
4	◇	国松 士晃	生涯学習課	出
5	◇	下村 征二	//	出
6	◇	山崎 正博	//	出
7	◇	松村 千賀子	福祉事務所	出
8	◇	田中 彰裕	人権課	出
9	◇	寺内 潤	環境対策課	出
10	◇	岡林 栄一	商工水産課	欠
11	◇	岩田 由子	地域支援課	出
12	総括	岡本 修	//	出
13	//	久武 正和	//	出

☆ 成年熟年期部会の開催内容

◎ 開会

◎ 自己紹介

◎ 議事内容

1. 平成 30 年度 第 2 回人生支援計画策定委員会の報告について

2. 平成 30 年度の取組に対する評価について

◇ 『目標数値』に対する精査について 【PDCA】

◇ 各事業の取組の精査

3. 元年度の部会テーマについて

◎ その他（年間スケジュールなど説明）

◎ 閉会

1.平成 30 年度 第 2 回人生支援計画策定委員会の報告について

- 平成 31 年 1 月 29 日開催の策定委員会に出席した副部会長から報告。 (内容省略)

2. 平成 30 年度 of 取組について

以下に掲載する個別事業名は、各施策を実施するための課題等について、特に成果があったものや改善することが必要とされ、より深く議論されたものである。

◇ 『目標数値』 に対する精査について 【PDCA】

① No.47 空き家バンク登録数

【P】 (目標値)

- ◇ H30 年度数値目標：『登録物件数 20 棟/年』
- ◇ 実績値 :『登録物件数 32 棟/年』
- ◇ 評価 :『A』

【D】 (実行内容)

- 移住者を受け入れるため、市内空き家の活用を促進するため、登録制度の周知並びに物件登録を行った。

【C】 (チェック/確認)

- 移住施策のように、良い実績評価のものは深掘りして進めていったらどうか。また、広報に載せて PR してはどうか。→ (6 月広報で掲載)

(事務局)

- ホームページのアクセスは家に関するものが多く、関心が高いので空き家バンクを増やしたいと考えている。また、空き家を見に来てくれたついでに、香南市の観光はどうかと関心を持ってもらえるような PR をしたい。
- まちづくり協議会や不動産業者等、地域との連携による空き家情報収集や移住相談員による活用可能な空き家調査が登録物件数の増加につながっている。
- 登録物件に古い空き家が多いため、移住希望者とのスムーズなマッチングにつながらない事がある。

【A】 (アクション/改善)

- 地域と連携した空き家の掘り起こしに継続して取り組むとともに、登録物件のスムーズな提供に向け空き家改修事業費等補助金の一部見直しを図る。

② No.48 移住者向け支援住宅の整備件数

【P】(目標値)

- ◇ H30 年度数値目標：『 1 棟/延べ 』
- ◇ 実績値 ：『 1 棟/延べ 』
- ◇ 評価 ：『 A 』

【D】(実行内容)

- 移住希望者向けにお試し滞在住宅を設置し、香南市の風土や気候・暮らしを体験してもらうことで、移住への不安を解消する施設短期滞在施設としての利用促進に取り組む。

【C】(チェック/確認)

- 移住施策のように、良い実績評価のものは深掘りして進めていったらどうか。
また、広報に載せてPRしてはどうか。→(6月広報で掲載)

(事務局)

- 平成 29 年 12 月より香我美町西川地区の「お試し滞在住宅」の供用を開始。移住希望者に利用(最長 3 ヶ月)してもらうことで、本市への移住の入口として役割を果たしている。
- 平成 30 年度は 4 組 6 名が利用し、2 組 3 名が本市への移住を達成した。
- お試し住宅の戸数としては、利用者が過剰にもなっておらず、現在、不足を感じていないので新たな整備は考えていない。

【A】(アクション/改善)

- 令和元年度からのお試し滞在住宅の目標を、利用してもらう数値として稼働率に変更する。
- 一人でも多くの移住検討者に利用してもらうために、県外移住相談会等でしっかりと移住相談を受けたうえで、香南暮らしの体験施設をPRし利用促進を図る。

③ No. 55 地域ボランティア活動支援

【P】(目標値)

- ◇ H30 年度数値目標：『 ボランティア登録者数 100 人/年 』
- ◇ 実績値 :『 ボランティア登録者数 115 人/年 』
- ◇ 評価 :『 A 』

【D】(実行内容)

○本の読み聞かせグループの活動支援をしている。

ボランティア(図書館クラブ)の保育所・幼稚園への読み聞かせ活動を支援している。

活動補助及び読書ボランティア講座を開催し後継者の育成を図る。【市単独】

○生涯学習人材バンクへの登録。

※生涯学習人材バンクとは

様々な分野において豊富な経験や資格をお持ちの方や団体の情報を「人材バンク」に登録し、市民の皆さんの生涯学習活動や学校における教育活動等を支援するために、指導者やボランティアとして紹介する制度。

【C】(チェック/確認)

- 読み聞かせと人材バンクについての実績が上がっており A 評価になっているが、塩の道ウォーキング参加時に道案内のボランティアが香美市と比べかなり少なかった。香美市の龍河洞キャンドルなどは企業化していて高知大の学生等がいて幅広いボランティアを保有している。

(事務局)

○(塩の道ウォーキングについて)地元だけでは高齢化等によりボランティアの確保が厳しいようである。KPIに示されるこの人数は生涯学習課のみで把握しているものを実績として挙げているが、市全体の地域ボランティアの活動実態は市で把握できないことから生涯学習課のみでの評価は対応しきれなくなっている。

【A】(アクション/改善)

○関係団体への制度やボランティアの趣旨説明を行い、会員の増員は図られているが、住民からの事業依頼が少ないため、今後は、依頼内容等の住民向けの広報活動を実施していく。

◇ 各事業の取組の精査について

- 単位がいろいろあって分かりにくい。メタボについては数値が低いほうがいいもので、そのような評価のものが混在している。
- 新規事業として、「成人歯科健診」があるが、これを評価シートにあげる予定はあるか。8020運動がこれまでも提唱されており、歯科が大事ということはこれまでも言われている。予算もついているので、新たにシートに加えてほしい。
- 70歳以上になって車に乗るのをやめようとする、公共交通機関は（香南市の）東西は比較的整備されていて利便性が良いが、南北は不便なので考えてほしい。ある国では温暖化対策のこともあり、公共交通機関を利用してもらうために無料にしているところもある。また、「高齢者の歩ける距離も考慮して、バス停を200m間隔に設定する」や、「車を保有した場合の維持管理費も提示する」等も考慮して検討してほしい。香北ではJRバスがどこでも乗り降りできるようになっている。→高齢期部会事務局会にて本意見を報告し引き継いだ。（今後は高齢期部会で協議）

3. 令和元年度の部会テーマについて

◇ 健康で楽しく、地域で暮らす。

- 実績が一番伸びているものにしたほうがいいのか。移住や婚活、第1子の妊婦に対する支援など。
- 健康に関するもの「健康で楽しく生き抜く知恵」がいいのでは。健康でないと人生を支援しても楽しい人生にならない。健康の中には交通機関も、歯の健康も食事もある。
- 退職してからどのように生きていくかを考えていく年代でもある。心身ともに健康に生きていくにはどうしたらよいか。（よい生活習慣を残すこと、DVなどのない家庭環境も含め。）
- 地域コミュニティをどう作っていくのか。健康でコミュニケーションを図ることができ、人間関係がうまくいくことによって幸せな人生を送ることができるように。